

- 1 図1において，四角形 ABCD は正方形，五角形 DEFCG は正五角形，三角形 DFH は正三角形です。角  $\text{ア}$ ，角  $\text{イ}$  の大きさをそれぞれ求めなさい。

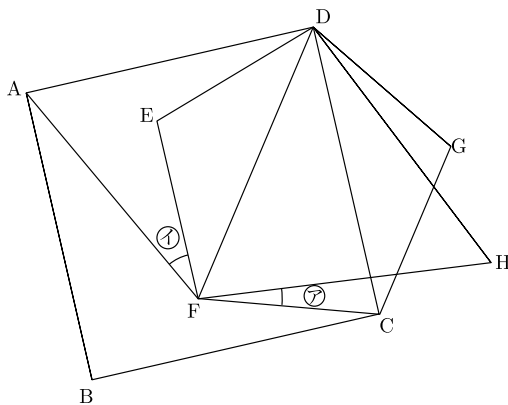


図1

[2021 年度 第1 回入試 2 (3)]

答  $\text{ア}$   $12^\circ$   $\text{イ}$   $27^\circ$

- 2 図2のように、点Oを中心とする半径6cmの円を4等分した図形で、点Aから点Dまでの曲線の部分を3等分する点をB、Cとします。OE、OFの長さがともに2cmであるとき、斜線部分の面積を求めなさい。

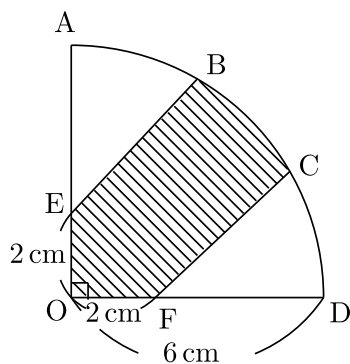


図2

[2021年度 第2回入試 2 (6)]

答 15.42 cm<sup>2</sup>

- 3 図3は、1辺の長さが12 cmの正三角形と直径12 cmの半円を組み合わせた図形です。  
このとき、斜線部分しゃせんの面積の和を求めなさい。

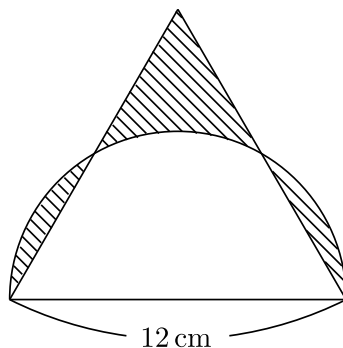


図3

[2019年度第2回 2 (4)]

答 18.84 cm<sup>2</sup>